

まちのたから 発見

歴史を継ぎ、守る

雲迎寺（さつき寺）住職・檀家総代の皆さん



▲左から総代 加藤信二さん、雲迎寺住職（兼務）岡安正人さん、
総代 仲上茂一郎さん・音羽智之さん

●檀家の皆さんが受け継ぎ、
守っていく

現在さつき寺と呼ばれるほど有名になった雲迎寺のさつきやお寺を受け継ぎ、管理されていたのは、先代までの歴代住職。今は10軒ほどの檀家の方々が、少ない軒数ながら、今や観光名所ともなっている由緒あるお寺を守ってくださっています。

○さつきの見ごろは例年6月上旬～6月中旬頃。
拝観料は無料です。

●雲迎寺の地蔵

浄土宗雲迎寺にある地蔵は、昔宝殿ヶ岳（雲迎寺の南側の山）にあったといわれています。その地蔵を大変気に入っていた蒲生氏郷公が、現在の松阪へ転封される際、その地蔵と一緒に持つて行こうと地蔵を担ぎ、運ばれていたところ途中で運べないほど重たくなり、やむを得ず現在の雲迎寺で地蔵を下ろされたといわれています。

●雲迎寺のさつき

雲迎寺にさつきを植えられたのは、元和5年（1619年）の「鉄火裁判」がきっかけだ

といわれています。当時の日野町（一部東近江市、旧蒲生町）で小柴山（綿向山ほか）の入会権をめぐる争い、東の郷と西の郷が争い、鉄火裁判が行われました。鉄火裁判は、真つ赤に熱した鉄の塊を代表の方が持ち上げたり、決められたところに運び勝敗をきめるといふ裁判で、当時の裁判では、東の郷の代表音羽喜助が勝訴したとのこと。この時の記念として蒲生氏の支流、音羽氏にゆかりのある雲迎寺にさつきを植えられたといわれています。



▲まるで「花の津波」のようなさつき。
約1000本のさつきが境内に咲き誇ります

あなたの携帯電話へ、
安全・安心情報が
届きます。

メールでしらせるしがの安全・安心情報 しらしがメール

滋賀県では、防災・防犯情報等の地域の安全・安心情報を配信する『しらしがメール』を運用しています。このサービスは、防災をはじめとする身の回りの危険に関する情報を、あらかじめユーザ登録いただいた携帯電話やパソコンへを配信（電子メール）するものです。

また、今年の7月からは新たに県内の地震の震度情報等をお知らせする「地震情報」を追加する予定です。

○配信内容

避難情報、河川水位情報、雨量情報
土砂災害警戒情報、けいたくん防犯情報
食中毒注意報、光化学スモッグ注意報
お知らせ、気象警報・注意報情報



気象情報・注意報の発表・
解除をお知らせします。



○詳しくは 滋賀県総合政策部情報政策課 まで
☎ 077-528-3381 E-mail : ce00@pref.shiga.lg.jp
<http://www.pref.shiga-info.jp/>

